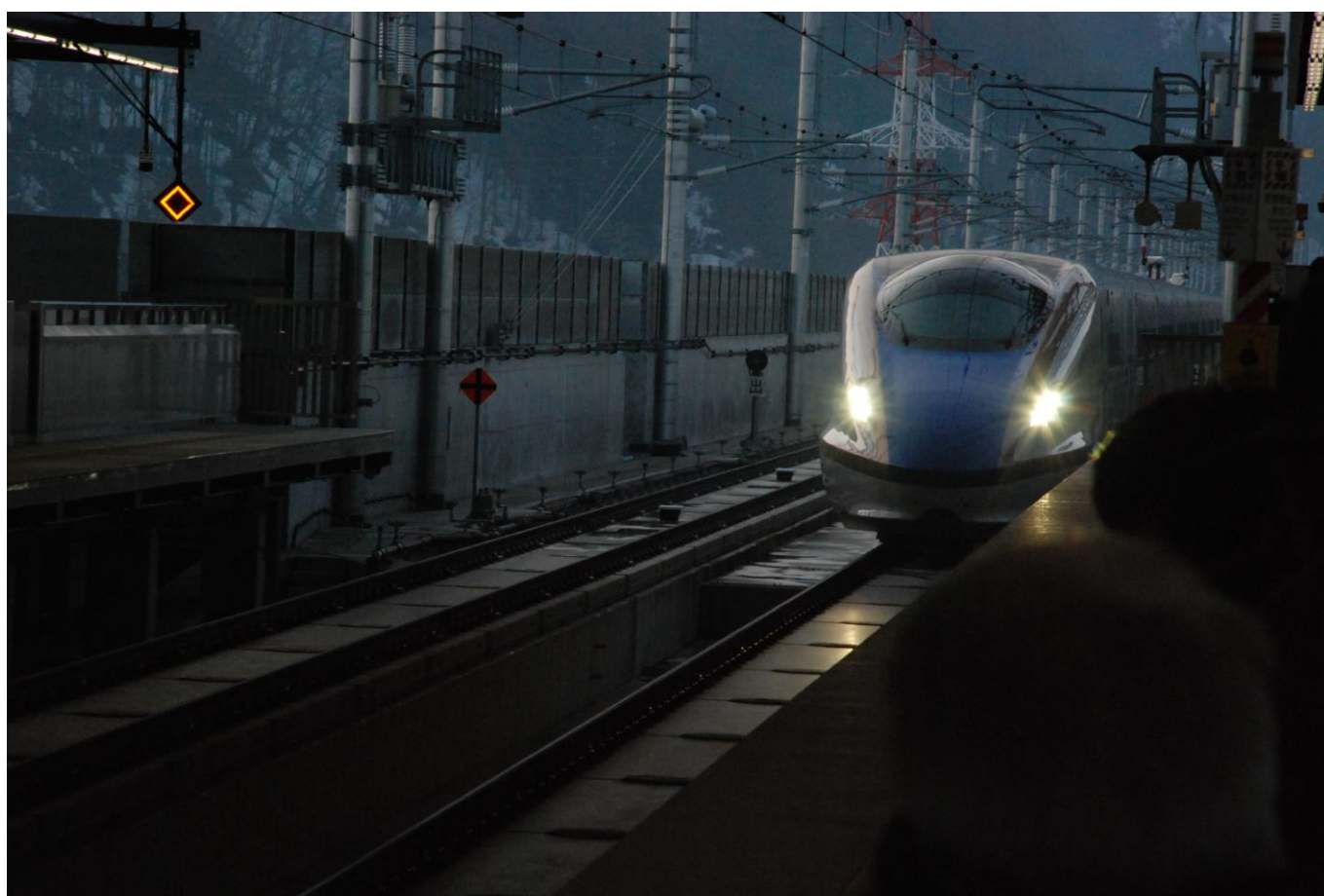


平成 27 年度

飯山ふるさと検定 公式ガイドブック

# いいやま物語



「平成 27 年 3 月 14 日、午前 6 時 21 分飯山駅に新幹線が入線」

飯山市教育委員会

# 日本のふるさと原風景と

## 伝統文化が息づくまち





位置 東経 138° 22' 11"  
北緯 36° 50' 54"

面積 202.32k m<sup>2</sup>

東西 23.1km

南北 25.2km

海拔 315m

(計測はいずれも市役所所在地)

飯山市の発足

昭和 29 年 8 月 1 日 一次合併

昭和 31 年 9 月 30 日 二次合併

人口 21,523 人 (H27. 8. 1 現在・毎月人口  
異動調査結果に基づく人口推計)

高齢化率 平成 27 年 4 月 1 日現在  
34.4%

観光地別観光客入込統計

平成 26 年度 約 1,199,800 人

(内スキー場入込統計)

平成 26 年度 341,533 人





# 【飯山市の概要】

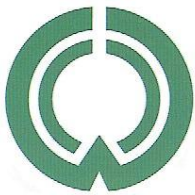
飯山市は、長野県内で最も低い千曲川沖積地に広がる飯山盆地を中心に、西に関田山脈・東に三国山脈が走る南北に長い地形をもっており、南西部には斑尾高原、北西部には鍋倉山、東部には北竜湖などがあり、多くの自然資源に恵まれた地となっています。

近傍都市への距離は、長野市へ 36 km、中野市へ 15 km、新潟県新井市へは 25 kmとなっています。

主要交通網としては、国道 117 号線・292 号線・403 号線が市内を走り、長野市から新潟県十日町方面へ JR 飯山線が走っています。

平成27年3月14日には、長年待ち望んだ新幹線飯山駅が開業しました。飯山市は、新しい一歩を踏み出し、さらに魅力的な町に変わろうとしています。

## 〇市 章



昭和29年8月1日の市制施行日に指定。

「いいやま」の文字をデザインしたもので、円は強調と発展を表します。

市旗は地色が黄緑色で、市章が白です。

## 飯山市のシンボル



〇市の木 ブナ （昭和49年 市制施行20周年を記念して制定）

ブナは、雪の中で芽吹くことができる樹木であり、太古の昔から豪雪地飯山の大地に根付いてきました。厳しい自然に耐え、堂々と大地に立つ姿はまさに飯山市の象徴です。

〇市の花 ユキツバキ （昭和49年 市制施行20周年を記念して制定）

飯山市内には雪のなかで冬を越す低木常緑樹が生息しています。このような常緑の低木が分布することは雪国の自然の特徴といえます。その代表として花の美しいユキツバキが飯山市の花に選ばれました。

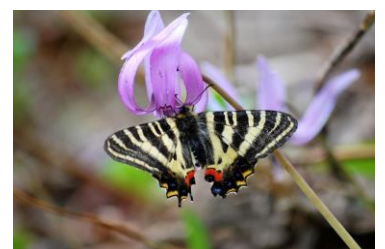


〇市の鳥 オシドリ （平成6年 市制施行40周年を記念して制定）

オシドリは日本各地に生息している漂鳥で、オスは美しく鮮やかです。「オシドリ夫婦」といわれるように、つがいの仲がよい鳥として知られています。飯山では千曲川、茶屋池、田茂木池などに生息しています。

〇市の蝶 ギフチョウ （平成6年 市制施行40周年を記念して制定）

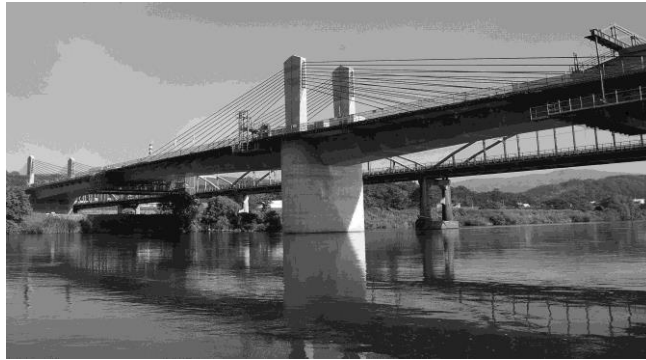
ギフチョウは、雪消えとともにカタクリの花が咲く頃になると、さなぎから羽化してきれいなチョウとなります。春、カタクリの蜜を求めて美しい羽を輝かせて飛び交うことから「春の女神」ともよばれています。



## 【自然・景観】

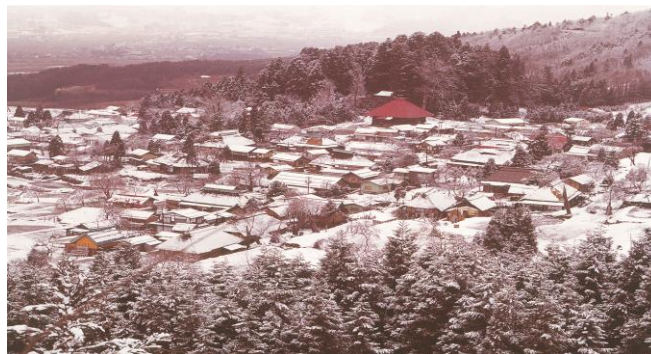
### ○新中央橋

平成 26 年 12 月 14 日、新中央橋が開通しました。新しい橋の長さは 365 メートル、幅は車道が 7.5 メートル（2 車線）、歩道幅員 3 メートル（両側）、西の橋上（国道 117 号側）には右折車線も設置され、これまでよりスムーズな通行が可能となりました。橋の形式は、エクストラードード橋と呼ばれ、県内の道路橋では初採用となる形式で、20 世紀にフランスのマチバ・ジャックが提案した桁橋と斜張橋の中間的な構造です。欄干には天然では飯山にしか棲まない絶滅危惧種の蝶・オオルリシジミや、市の蝶と鳥のギフチョウとオシドリ、市の花・ユキツバキなど飯山地域の動植物のレリーフが散りばめられています。橋の入り口にある親柱には、旧飯山港の帆船と明治時代の舟橋のリアル・イラストが描かれています。



### ○小菅の里及び小菅山の文化的景観

平成 27 年 1 月 26 日、「小菅の里及び小菅山の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定されました。文化的景観とは、風土に根ざして営まれてきた人々の生活や生業の在りかたを表す景観地のことで、自然との共生のなかで育んできた原風景ともいえるものです。小菅山とその参道沿いに展開した計画的な地割やカワ等巧みに水を利用した集落景観が特徴的です。



### ○県指定文化財 魚形線刻画土器

秋津地区山ノ神遺跡（荒船）で発掘された魚形線刻画土器が、平成 27 年 2 月 19 日、県の文化財「県宝」に指定されました。魚形線刻画土器は、昭和 47 年に田草川扇状地一帯の圃場整備の際に行われた発掘調査で発見されたもので、土器片は縄文時代晩期中頃の佐野式土器（約 2,700 年前）に属するものです。縄文人は土器などに優れた造形表現を残していますが、絵を描くことはほとんどしなかったようです。これまでに魚の絵を描いた土器は他に例がなく、縄文時代の遺物として学術上重要であると評価されました。また、原始絵画の歴史や、魚はシュモクザメと推定されることから、日本海の沿岸部との交流についても重要な考古資料であると認められました。







可憐なカタクリ 飯山のどこでも見ることができます。  
 当たり前の景色が、実は大きな宝物です。



フキノトウ 私たちには当たり前でも、訪れる人には  
 雪の下からのぞく様は黄金色に見え感激を与えます。



日本を代表する景観のひとつとなった菜の花公園



#### 棚田の景観

地域住民で復活させた瑞穂福島新田の棚田は、「日本の棚田百選」にも選ばれています。市内では瑞穂地区に石垣の棚田が多く、他の棚田としては富倉地区の天水田、外様・太田地区の山間部には傾斜に沿った様々な形の水田が点在し、撮影ポイントが多くあります。

#### 実はこの景色がいいんです!



柿すだれ かつては晩秋の風物詩でしたが、あまり見られなくなりました。訪れる方にとっては郷愁を感じさせます。



干し大根風景 柿すだれ同様に晩秋の風物詩です。



## ○美しい自然が飯山の魅力—雪にはぐくまれた風土—



たくましく成長するブナは、雪国ならではの樹木です。以前は飯山盆地全体がブナで覆われていました。現在でも外様地区尾崎の三桜神社境内にはブナが残っています(市指定)。雪により折れてしまう他の幼木と相違し、柔軟な幹のブナは雪に倒されても折れずにたくましく立ち上がってきます。根元付近が曲がっているブナが多いのはそのため。根開けと呼ばれる樹木周囲の雪がとけている風景は、飯山の春の景観です。

ブナの森は雪国の象徴です。

自然入門書

自然観察ガイド H24 飯山市

飯山市生物多様性保存計画策定書 H25 飯山市

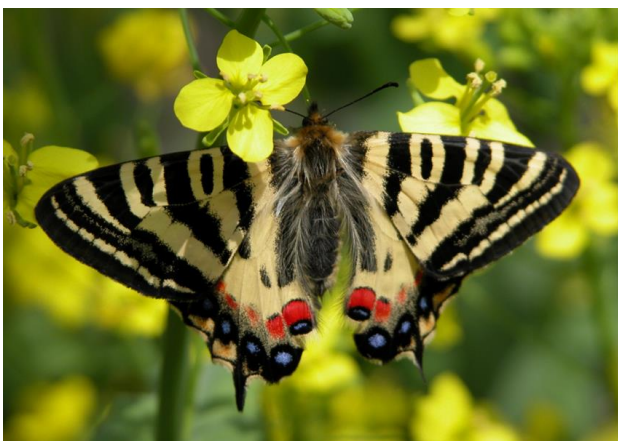
## ○飯山ならではの希少な生きものに出会える



オオルリシジミ 飯山市は、本州では唯一の野生種の生息地です。飛び交う時期は6月頃です。



鍋倉の名がついたナベクラザゼンソウ  
仏像の光背に似た形の花弁の重なりが僧侶が座禅しているようにみえることから名がつけました。  
葉と花が同時に生育することが新種の特徴



ヒメギフチョウ ギフチョウとヒメギフチョウの混生地、モリアオガエルの生息などに代表される黒岩山は国天然記念物に指定されています。「春の女神」と呼ばれるギフチョウには5・6月頃出会えます。



モリアオガエル

6月頃、黒岩山の熊池周囲の樹木には白い泡状のものがたくさんついています。モリアオガエルの産卵したものです。じっと目を凝らすと、付近にいるモリアオガエルに出会えるかもしれません。

※このほか絶滅危惧種に指定されている、トガクシソウ・シラネアオイ・チシマウスバスミレ・ミスミソウ・オキナグサ・ヒメカイウオニシオガマ(植物)、イヌワシ、オオタカ・スナヤツメ・メダカ・ホトケノドジョウ・クロサンショウウオ・オオキノコムシ(動物)となどの希少野生動植物をはじめ多様な生きものが暮らしています。



## ○歴史の証人 巨樹・巨木に会える



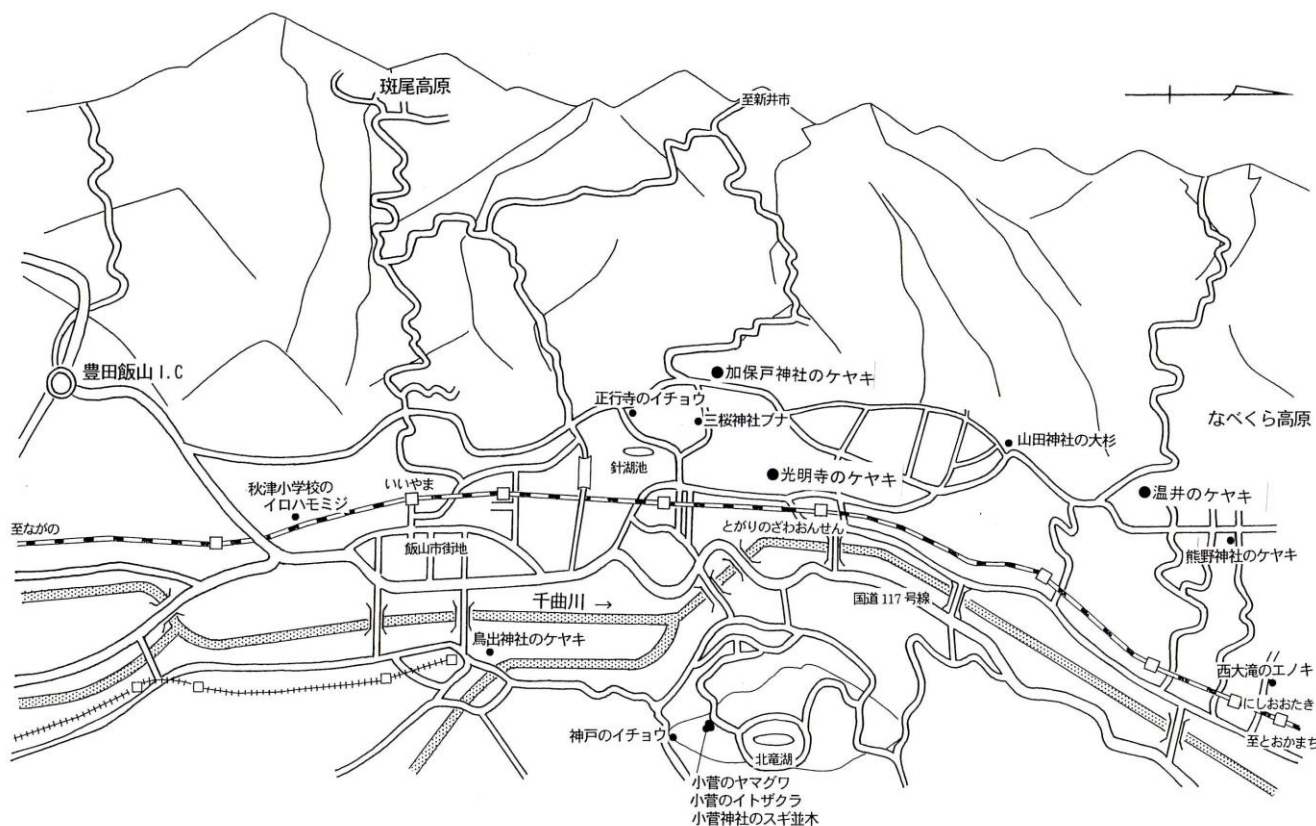
鍋倉山のブナ森太郎 樹齢 500 年ともいわれています。とすれば、関田峠を越えてきた上杉謙信をこのブナは見ていたのかもしれませんが。



神戸のイチョウ(県指定天然記念物)

神戸の大イチョウは、雪例樹(ゆきだめしぎ)とも呼ばれています。この樹はもととあまり黄葉せず青々としています。降雪する直前には「すべての葉を落とす」といわれたり、「少しづつ葉を落とす」とその年は降雪が少なく、一度に多くの葉を落とすと大雪になる」といわれたりしています。この樹木の下には、火伏せの神様である「三宝荒神」の石祠が祀られています。

小菅神社奥社参道の杉並木も県指定天然記念物です。約一八〇本あるといわれ、中には幹周囲五mを超える大木もあります。付近一帯を「神の森」と呼んでいます。まさに幽玄の世界を感じます。



巨木めぐりマップ

### かんたん周遊コース (見学時間にもよりますが、約3時間コースです)

飯山市街地発～正行寺のケヤキ～三桜神社のブナ～山田神社の大杉～小菅神社(ヤマグワ・イトザクラ・杉並木)～神戸のイチョウ～市街地 (※正行寺の見学は一言お寺さんにお願ひしましょう)

### のんびり一日コース

飯山市街地発～正行寺のケヤキ～三桜神社のブナ～加保戸神社のケヤキ～山田神社の大杉～温井のケヤキ～熊野神社のケヤキ～西大滝のエノキ～光明寺のケヤキ～小菅神社(ヤマグワ・イトザクラ・杉並木)～神戸のイチョウ～鳥出神社のケヤキ～秋津小学校のイロハモミジ～市街地

参考書「飯山風土記」H15 飯山市振興公社



# 【歴史と文化】

## ○悠久のふるさと飯山

### 雪がはぐくんだ自然の恵み

飯山で人が暮らし始めたのは、およそ2万5千年前とされています。原始・古代の飯山は豊かな自然環境がもたらす豊富な食料に恵まれ、狩猟や漁労、植物採取などをし、住まいを移動しながら暮らしていました。

また、飯山は古くからの水田地帯です。2000年前の弥生時代、いち早く飯山でも水稲耕作が始まりました。1000m内外の浅い山地に囲まれた飯山で、多量の降雪があるからこそ田植えの時期の水が確保されたのです。

## 花開いた中世文化

上杉謙信と武田信玄の争いは川中島合戦が有名ですが、最終局面では飯山城争奪戦でした。歴史の舞台はまさに飯山だったのです。

これより前の15世紀頃、在地豪族により確かな文化が花開いていました。この時期の文化遺産として3件の重要文化財と3件の県宝があります。



白山神社本殿(岡山地区桑名川) 岳北地方最古の建築物です。キートン 鯨鼻(しゃちばな)・猪の目懸魚(いのめげぎょ)・鬼板 応永32年(1425)の創建です。



健御名方富命彦神別神社末社若宮八幡神社本殿 (たてみなかたとみのみことひこかみわけじんじゃまっしやわかみやばちまんじんじゃほんでん) 文明8年(1476)尾崎政重創建か



小菅神社奥社本殿(瑞穂地区小菅)

岩窟に建てられた懸崖造りです。内部にある2基の宮殿(永正五年(1506)造営も重文指定です。本殿は天文年中(1540年前後)再建の再建です。

平成24年3月、本殿屋根が雪害により毀損されたことがわかり、国庫補助事業として改修工事を実施しました。屋根の銅板葺き替えや軒先の補助柱を従前のように設置しています。



板絵著色観音三十三身図(童子)



桐竹鳳凰文透彫奥社脇立(桐)

### 小菅の文化財

板絵著色観音三十三身図(いたえちやくしよくかんのんさんじゅうさんしんず)は、現在15枚残されています。杉板材に極彩色で描かれていますが、長い年月のためかなり剥落しています。制作年代は応永13年(1405)年です。

桐竹鳳凰文透彫奥社脇立(きりにたけほうおうもんすかしぼりおくしやわきたて)は、檜材で高肉彫、彩色がなされ下地には金箔が貼られています。写真は桐の彫刻ですが、もう一枚竹の彫刻あり、対になっているものです。制作年は天文15年(1546)です。

同じく小菅の寺院(菩提院)所蔵の両界曼荼羅図も県宝に指定されています。制作年代は応永期前後(14世紀末～15世紀前半)と推定されています。

このほか、木造馬頭観音菩薩坐像(平安時代末)や白神馬・黒神馬奉納絵馬(江戸時代初期)、阿弥陀三尊像(江戸中期)、花鳥の図(江戸後期)などは市の文化財に指定されています。

参考 「飯山市の文化財」 H14 飯山市

## ○名城 飯山城 2014 年に築城 450 年

### 上杉謙信の築城



飯山城跡 北上空から撮影 三の丸・二の丸・本丸と高くなります。 右手の建物は弓道場と市民会館 中ほどの右端には復元された門も見えます 堀は駐車場等になっています

飯山城は、永禄 7(1564)年に越後の上杉謙信が信濃一円に勢力を伸ばしてきた甲斐の武田信玄に対抗して、越後の防衛・信濃経略の前線基地として本格的に築城されました。永禄 7 年と推定される 10 月 2 日付の「上杉輝虎書状案」に「飯山普請悉成就候間 昨日納馬候・・・」とあり、1564 年 10 月 1 日に謙信自ら普請の完了を確認したことがわかります。この日を飯山城築城の日としています。2014 年には築城 450 年を迎えました。

なお、同じく永禄年間の 8 月 27 日付の「上杉輝虎書状案」(蔵田文書)に「弥七郎(泉弥七郎)は城ぬしの事に候間 實城(本丸)にもとの如く守り候様にかたくこれを申しつけべく候」とありますので、謙信が防御に力を注ぎ大改修をおこないましたが、もともとは泉氏の館であったことが伺えます。

### 直江兼続母の生家は飯山城

謙信が改修して属城としましたが、この頃の城主は泉(尾崎)氏 17 代弥七郎(重蔵)でした。弥七郎は 1531 年に家督を継ぎ、1573 年に亡くなっています。

花ヶ前盛明氏は、上杉氏文禄三年定納員数目録に『妻泉弥七郎重蔵娘 樋口伊予守』とあり、上田士籍に「上田六日町新戸城主 上田執事 後直嶺へ被遣 伊予ト云 内膳父 長兼又兼景トモ 信州泉氏娘 樋口惣右衛門」とあることから、兼続の母は信州武将泉弥七郎重蔵の娘であったと述べています。なお、名は蘭子とのことでした。

20 代重誓は上杉景勝の移封に伴い会津宮沢城(現山形県南陽市宮内)に入っています。重誓は城の名を三桜城と名づけました。市内尾崎区には三桜神社がありますが、重誓は信州飯山を偲んでゆかりの名をつけたのでしょう。

## ○ 飯山城下町 2013 年は開町 430 年

天正 10 年、上杉景勝は岩井父子を飯山城代に命じます。岩井信能は、天正 11 年(1583)城下町づくりに本格的に着手しました。平成 25 年には飯山町開町 430 年を迎えました。町は最初に上町・下町(本町)・肴町の三町がつくられたということですが、城主堀丹後守の頃(1610 年以降)には、愛宕町・伊勢町(神明町)ができ五町となったようです。この絵図は松平時代の城下町絵図です。武家屋敷には氏名が記されていますが、町屋敷は町名のみです。上町・本町・肴町・愛宕町・伊勢町の名があります。



松平時代城下町絵図(市指定・17 世紀中～後・飯山小学校蔵)

島崎藤村が、「さすが信州第一の仏教の地」(破戒)、「土地の人が信心深いというのも、偶然では無いと思う。この町だけに二十何力処の寺院がある。同じ信州に中でも、ここは一寸上方へでも行ったような気が起こる。」(千曲川のスケッチ)と記述したように、飯山の街の中には多くの寺院が建ち並んでいます。「信州の小京都」、「雪国の小京都」、「寺の町いいやま」と呼ばれる所以です。



## ○寺の町いいやま

「寺の町飯山」といわれるくらい飯山町には多くの寺町が建ち並んでいます。「寺は三十六鐘なら愛宕」と飯山小唄にもありますが、現在は、20カ寺を数えます。小さな市街地にこれだけの寺が密集していることも飯山城下町の大きな特徴といえます。

天正11(1583)年、飯山城代岩井信能が始めた城下町づくり当初から寺社の配置を計画的に考えていたようです。信能はまず、上杉謙信が飯山城の築城にあたり城内から有尾に移した飯笠山八幡神社に社領を寄進しています。また、市ノ口に英岩寺、有尾の山根に大聖寺もありましたので、有尾から市ノ口にかけては城下集落が整っていたものと考えられます。事実、正保の絵図には現有尾集落内まで「町屋」となっています。飯山町は北側の城下集落を再整備する中で侍屋敷、町屋屋敷、寺社区域を定めて形成されていったと思われます。関一政は愛宕権現・別当大輪院を創建しました。西方の丘陵を寺社域として意識してのことです。また、堀直寄は伊勢社を再興しています。続いて佐久間安政は、真宗寺・大聖寺・英岩寺・光蓮寺・常福寺・慶宗寺などに寺領を安堵し、新たに移転してきた称念寺・西敬寺・蓮証寺にそれぞれ屋敷地を与えています。また、修験寺院の庇護にもあたっています。次の松平氏は、西念寺、蓮証寺の移転にあたり寺領を寄進しています。また、正受庵も開基されました。城下西山麓に連なる寺院は、歴代藩主が「城下囲い」としての意識のもと都市計画により配置されたものでありますが、その多くは移転により建てられたことがわかります。

以上、寺院の草創を見ると、おおよそ1700年頃までの松平氏のときに寺町が形成されたことがはっきりとわかります。

飯山城、城下町の入門書 「飯山城と城下町」 H19年 飯山市ふるさと館

## ○精神文化の高さは飯山の誇りー正受老人が住した正受庵ー



奥信濃特有の風土が生み出したのでしょうか、恵端禪師(正受老人)という傑出した僧を輩出しています。その人となりをとてても一口では言い表せませんが、天下の名僧と呼ばれる方でも唯一、名利に住せず、地位にも名誉にも偏せず、一生涯ひたすら一禅僧としての修行を全うされた方です。正受庵 11世酒井盤山住職は、「純粋な正受老人の霊場として、道場としてその心が生き続く」ことを願っていましたが、まさに建物を見るだけでなく、正受老人終生修業した場所であることを胸に刻んで境内を歩きたいものです。

正受庵、正受老人を知るための入門書

○飯山市の文化財 H14 飯山市教育委員会

○正受庵の宝 H18 飯山市ふるさと館

県史跡 恵端禪師旧跡正受庵 県史跡の指定理由は茅葺の建物ではなく、恵端禪師という名僧が一生涯暮らした「場所」であることから、「史跡」として指定されています。

### 天下の三庵

正受庵は、菩提を弔うために建てられたわけではなく、最初から修行を目的として建てられた寺院です。江戸時代、菩提を弔わない寺として、江戸の至道庵、尾張犬山の輝東庵、そして飯山の正受庵は『天下の三庵』と呼ばれていました。

### 正受老人の狼退治

あるとき、奈良沢村の木こりが山に木を切りに行ったところ、木が倒れてそばにいた狼の子が下敷きとなって死んでしまいました。以降、狼は村へ行っては子どもを傷つけるようなことがたびたびあり、村人は大変困っていました。

それを聞いた正受老人は、片山の石の上に座禅をしながらじっとしていると、夜中に大勢の狼が集まってきて、今にもかみ殺すように近づいたり、頭の上を飛び跳ねたりしていました。しかし、老人はうろたえることなく、ひたすら座禅をしていました。やがて、狼は少しずつ引き上げやがていなくなりました。

その後、狼は村を襲うことはなくなったということです。

## 正受老人の言葉に「一日暮らし」という言葉があります

ある人の話に、「どの人が言ったかわからないが『一日暮らしという生き方をするようになったら、心もさわやかになって体のためにも非常によかった。』と聞いた。

なぜかという、一日は、千年万年の初めであり、その初めの一日をよく暮らすようにしていると、その日は充実したものとなり、それは一生をよく暮らすことにつながるからだ。

ところが人間というものは、とにかく翌日のことを考えて、ああでもないこうでもない、まだ先のことについて取り越し苦労をして、一日をむだに過ごしてしまい、その日のことを怠りがちになる。明日もあるから今日はこれでいいだろう、という毎日が続いていってしまふと、今日の一日という意識もなくなってしまい、ついあてもない先のことを頼みとして、その日の自分自身の緊張感がなくなってしまう。

明日やればいいと言っても、その明日があるかどうかは誰にも分からない。人の命は、はかないものだからこそ、今日一日の生活はどうなってもいいということではなく、今日の一日を精一杯つとめ励むべきなのだ。

どんなにつらいことでも、一日のことだと思えば耐えられるし、楽しみだっ

て一日のことだと思えばそれに溺れることもない。

おろか者が好き勝手なことをして親不孝をするのも、人生は長いからそのうち孝行すればいいなどと考え、つい甘え心をおこしてしまうからだ。

どんなことでも、今日一日が自分の生涯だという気持ちで過ごせば、無意味な時間を過ごすことなく、充実した一日を過ごすことができる。一日一日と思って一生懸命に生きれば、百年でも千年でも充実して過ごすことができる。これから先、長い一生のことだと思ふから、荷が重くなってしまう大変なことになる。

一生は長いものだと思うけれども、これから先のことや明日のことやら、一年、二年、また百年、千年先のことや、わかる人はいない。死ぬまでが一生であると思って長く生きることができるよう気持ちになっていると、一生という時の長さについてのせられてしまって、だまされやすくなってしまう。」と。

人生の中で一番大切なことは、今日ただいまの自分の心なのだ。それをおろそかにしては、翌日などというものはない。今日をきちっと一生懸命に務めるように心がけなければ、明日という日も墮落した日になってしまう。今日一日をしっかりと務め、明日もまたそのような一日がくるようにしなければならない。

世の中のすべての人に、先のことを考えてみることは、誰にもあることだ。しかし、今ここにある、この一刻の、この今を、どう生きるか、どう暮らすかを考えている人は少ない。



## ○人々の営みを知る―伝統文化は飯山の宝―

### まちの祭り

祇園祭として続けられている行事として、飯山町の祇園祭があります。また、祇園と宗教行事があわさった祭りと考えられる小菅柱松柴燈神事(小菅の松子)、神官が明治まで伝え、後に民衆が担ってきた五束の太々神楽があります。小菅は国、五束は県の文化財指定となっています。



小菅柱松柴燈神事(三年に一度7月に開催)  
上(かみ)・下(しも)の柱松に点火の遅速を競うもので、上が勝つと天下太平、下が勝つと五穀豊穡と占われます。



五束の太々神楽(毎年5・9月の祭りに数曲奉納)  
出雲系の神楽とされており、現在8曲が伝承されています。写真は「夷舞」(えびすまい)です。

### 村々のまつり―獅子舞や天狗シメキリは必見!

農村では、五穀豊穡を祝う祭りが8月末から9月にかけて行なわれます。祭りを行なう多くの集落では、獅子舞と天狗(猿田彦)舞の神楽が行なわれます。これだけ多くの集落で獅子舞や天狗舞など多種多様の神楽が行なわれている地域は他にありません。岡山地区桑名川の大祭は市の指定文化財です。そのほかには、小沼のさつま踊り、からす踊り、秋津の屋台も指定されており、市の宝となっています。

参考「飯山の祭り」H23 飯山市



岡山地区奈良沢区の大天狗



岡山地区西大滝区のさいとりめん



岡山地区桑名川区の剣の舞



常盤地区小沼区のさつまおどり



## どうろくじん(道祖神火祭り)

「ドンド焼き」とも呼ばれる小正月頃に行なわれる道祖神火祭りは、秋祭り以上に市内約 80 集落で現在も行なわれています。5m から 10m の三角錐の小屋を建て、周りをカヤやヨシで囲みどうろくじんを作ります。点火に際しては、子どもと大人との火の攻防が行なわれるところもあります。

集落全員が新年のあいさつを交わし、お神酒をいただきながら子どもの成長を願うこの行事は、大小の集落に限らず絆を深めるイベントとしても大切なものです。参考「飯山のどうろくじん」H24 飯山市



どうろくじん(奈良沢) 初子の祝いがある年は、大きな書初めを竹ざおに吊るして燃します。書初めが高く舞い上がると字が上達するといわれ、また、どうろくじんの火で焼いた餅を食べるとその年は風邪を引かないといわれています。



瑞穂地区福島新田のどうろくじん  
福島区のどうろくじんは、カヤの上に杉葉で覆ったどうろくじんを作ります。市内の数多いどうろくじんの中でも珍しい作りです。

## ○伝統の食こそ飯山ブランド

飯山市の食の文化財として、富倉の笹ずし、えご、いもなます、富倉そばの 4 件が選択されています。

飯山の地で古くは 400 年も前より野山にある山菜、田畑で収穫した作物、家の周りに植えてある「せんぜもの」、越後の海産物を使って郷土の料理が作られてきました。しかも、それらは工夫の積み重ねによって現在でも行事に、日常生活に欠かせない存在となっています。

「富倉の笹ずし（笹の葉ずし）」は、笹の葉にご飯をのせ、大根のみそ漬けと山菜のみそ漬けで味付けしたものと、クルミをのせたものです。「いもなます」は、じゃがいもの千切りを、でんぷんを抜き、酢、砂糖、塩で味付けしたものです。「えご」は、エゴ草に水を加えて煮とかし、練り上げて流しからめたものです。「富倉そば」は、オヤマボクチをつなぎとするとところに特徴があります。江戸時代の文書には、将軍家に献上品として「そば」が記載されています。これから、ますます注目を浴びる「郷土食」です。



富倉の笹ずし



えご



いもなます



富倉そば



# 国・県・市 指定文化財リスト

## 国指定文化財 指定5(重要文化財3、重要無形民俗文化財1、天然記念物1)、選定1(文化的景観)、美術品1

| 通し<br>No. | 指定<br>No. | 種別        | 名称                        | 所在地                                   | 指定年月日    | 備考      |
|-----------|-----------|-----------|---------------------------|---------------------------------------|----------|---------|
| 1         | 1         | 重要文化財     | 白山神社本殿(附)棟礼               | 飯山市大字照岡638                            | S27.3.29 | 桑名川     |
| 2         | 2         | 重要文化財     | 健御名方富命彦神別神社<br>末社若宮八幡神社本殿 | 飯山市大字豊田五束                             | S27.7.19 |         |
| 3         | 3         | 重要文化財     | 小菅神社奥社本殿(附)<br>宮殿(2基)     | 飯山市大字瑞穂7103                           | S39.5.26 |         |
| 4         | 4         | 天然記念物     | 黒岩山                       | 飯山市大字寿1966ほか                          | S46.7.5  |         |
| 5         | 5         | 重要無形民俗文化財 | 小菅の柱松行事                   | 飯山市瑞穂小菅                               | H23.3.9  | 小菅柱松保存会 |
| 6         | 6         | 重要文化的景観   | 小菅の里及び小菅山の<br>文化的景観       | 飯山市大字瑞穂<br>小菅区、神戸区の一部、関沢<br>の一部、針田の一部 | H27.1.26 |         |
|           |           | (重要美術品)   | 健御名方富命彦神別神<br>社本殿及び付属鰐口   | 飯山市大字豊田五束                             | S23.10.1 |         |

## 県指定文化財 指定12(県宝6、無形民俗1、史跡3、天然2)、選択1(無形民俗)

| 通し<br>No. | 指定<br>No. | 種別          | 名称             | 所在地           | 指定年月日     | 備考                      |
|-----------|-----------|-------------|----------------|---------------|-----------|-------------------------|
| 1         |           | 史跡          | 恵端禅師旧跡正受庵      | 飯山市大字飯山1869-1 | S35.2.11  |                         |
| 2         |           | 天然記念物       | 神戸のイチヨウ        | 飯山市大字瑞穂3115   | S37.9.27  |                         |
| 3         |           | 県宝          | 桐竹鳳凰文透彫奥社脇立    | 飯山市瑞穂小菅       | S39.8.20  | 小菅文化財収蔵庫                |
| 4         |           | 県宝          | 板絵著色観音三十三身図    | 飯山市瑞穂小菅       | S39.8.20  | 小菅文化財収蔵庫                |
| -         |           | 天然記念物       | 鳥出神社のケヤキ       | 飯山市大字下木島425   | S40.4.30  | H19.5.1豪雪による<br>枝折のため解除 |
| 5         |           | 史跡          | 飯山城跡           | 飯山市大字飯山2753他  | S40.7.29  |                         |
| 6         |           | 天然記念物       | 小菅神社の杉並木       | 飯山市大字瑞穂小菅     | S49.3.22  |                         |
| -         |           | 無形民俗文化財     | 小菅の柱松行事        | 飯山市瑞穂小菅       | S52.11.17 | H22 国指定<br>に伴い解除        |
| 7         |           | 県宝          | 木造伝聖徳太子立像      | 飯山市大字飯山2125   | S54.12.17 | 西敬寺                     |
| 8         |           | 史跡          | 勘介山古墳          | 飯山市大字静間2830   | H6.2.18   |                         |
| 9         |           | 県宝          | 太刀 銘天然子壽昌      | 飯山市大字静間395-6  | H1.8.14   |                         |
| 10        |           | 無形民俗文化財     | 五束太々神楽         | 飯山市大字豊田五束     | H10.10.26 |                         |
| 11        |           | (選択無形民俗文化財) | 富倉の笹ずし         | 飯山市域          | H12.3.15  |                         |
| 12        |           | 県宝          | 菩提院の絹本着色両界曼荼羅図 | 飯山市大字瑞穂7082   | H14.3.28  | 菩提院                     |
| 13        |           | 県宝          | 魚形線刻画土器        | 飯山市大字飯山1434-1 | H27.2.19  |                         |

市指定文化財 指定67(有形40、有形民俗4、無形4、史跡5、天然14)

| 通し<br>No. | 指定<br>No. | 種別      | 名称                         | 所在地              | 指定年月日    | 備考            |
|-----------|-----------|---------|----------------------------|------------------|----------|---------------|
| 1         | 2         | 無形民俗文化財 | さつまおどり                     | 飯山市大字常盤小沼区       | S48.6.25 |               |
| -         |           | 無形民俗文化財 | 五束の太々神楽                    | 飯山市大字豊田五束        | S48.6.25 | H10 県指定に伴い解除  |
| 2         | 3         | 有形文化財   | 黒本尊阿弥陀如来像                  | 飯山市大字飯山2029      | S51.1.16 | 忠恩寺           |
| 3         | 4         | 有形文化財   | 本多豊後守康重候画像                 | 飯山市大字飯山2029      | S51.1.16 | 忠恩寺           |
| 4         | 5         | 有形文化財   | 松平時代飯山城下町絵図                | 飯山市大字飯山2400      | S51.1.16 | 飯山小学校         |
| -         | 6         | 天然記念物   | 三度柿                        | 飯山市大字豊田4040      | S51.1.16 | 枯死により解除       |
| 5         | 7         | 史跡      | 須田ヶ峯遺跡                     | 飯山市大字飯山字須田ヶ峯     | S51.1.16 |               |
| 6         | 8         | 有形文化財   | 白隠筆古剣銘                     | 飯山市大字飯山1871      | S51.2.17 | 正受庵           |
| 7         | 9         | 有形文化財   | 中野不白恵端老漢在白偈                | 飯山市大字飯山1871      | S51.2.17 | 正受庵           |
| 8         | 10        | 有形文化財   | 恵端遺偈                       | 飯山市大字飯山1871      | S51.2.17 | 正受庵           |
| 9         | 11        | 有形文化財   | 道樹宗覚遺偈                     | 飯山市大字飯山1871      | S51.2.17 | 正受庵           |
| 10        | 12        | 有形文化財   | 東嶺和尚讃無難和尚像                 | 飯山市大字飯山1871      | S51.2.17 | 正受庵           |
| 11        | 13        | 天然記念物   | 山田神社の大杉                    | 飯山市大字豊田7065      | S51.2.17 |               |
| -         | 14        | 史跡      | 勘介山古墳                      | 飯山市大字静間2830      | S58.3.10 | H6 県史跡に伴い解除   |
| 12        | 15        | 有形文化財   | 阿弥陀如来立像                    | 飯山市大字瑞穂4302-2    | S58.3.23 | 関沢十王堂         |
| 13        | 16        | 有形民俗文化財 | 今井伊勢社                      | 飯山市大字常郷          | S61.1.24 | 常磐神社          |
| 14        | 17        | 有形民俗文化財 | 万仏山観音石像及び本尊                | 飯山市大字瑞穂          | S61.1.24 |               |
|           | 18        | 有形文化財   | 魚形線刻画土器片                   | 飯山市大字飯山1434-1    | H4.2.18  | H27 県宝指定に伴い解除 |
| 15        | 19        | 有形文化財   | 石田家文書                      | 飯山市大字常盤1498      | H4.2.18  | ときわ郷倉         |
| 16        | 20        | 有形文化財   | 五束の道祖神                     | 飯山市大字豊田3939      | H4.2.18  |               |
| 17        | 21        | 有形文化財   | 大深の五輪塔                     | 飯山市常郷1012        | H4.2.18  |               |
| 18        | 22        | 史跡      | 藤ノ木の御旧跡<br>(伝親鸞聖人・蓮如上人御旧跡) | 飯山市大字旭           | H4.11.17 |               |
| 19        | 23        | 有形民俗文化財 | 秋津の祭り屋台                    | 上組、中山根、大久保、中町、北畑 | H4.11.17 |               |
| 20        | 24        | 有形文化財   | 鳥出神社の算額                    | 飯山市大字下木島425      | H5.11.25 |               |
| 21        | 25        | 有形文化財   | 小菅神社奉納絵馬<br>「黒神馬・白神馬」      | 飯山市大字瑞穂小菅        | H9.1.20  |               |



|    |    |         |                        |                   |           |               |
|----|----|---------|------------------------|-------------------|-----------|---------------|
| 22 | 26 | 有形文化財   | 小菅神社奉納絵馬「花鳥之図」         | 飯山市大字瑞穂小菅         | H9.1.20   |               |
| 23 | 27 | 有形文化財   | 小菅神社木造馬頭観音世音菩薩座像       | 飯山市大字瑞穂小菅         | H9.1.20   |               |
| 24 | 28 | 天然記念物   | 小菅のイトザクラ               | 飯山市大字瑞穂小菅         | H9.1.20   | 小菅神社          |
| 25 | 29 | 天然記念物   | 熊野神社のケヤキ               | 飯山市大字照岡柄山         | H9.1.20   |               |
| 26 | 30 | 有形文化財   | 健御名方富命彦神別神社奉納諏訪大明神青銅縣額 | 飯山市大字豊田五束3681-1   | H9.1.20   |               |
| 27 | 31 | 有形文化財   | 健御名方富命彦神別神社の薙鎌         | 飯山市大字豊田五束3681-1   | H9.1.20   |               |
| 28 | 32 | 天然記念物   | 沼池のヤエガワカンバ             | 飯山市大字旭大平峰8201-3   | H9.1.20   |               |
| 29 | 33 | 史跡      | 有尾1号古墳                 | 飯山市大字飯山有尾6301-1ほか | H9.1.20   |               |
| 30 | 34 | 史跡      | 法伝寺2号古墳                | 飯山市大字静間511        | H9.1.20   |               |
| 31 | 35 | 天然記念物   | 大久保のサルスベリ              | 飯山市大字静間1916       | H10.5.18  |               |
| 32 | 36 | 有形文化財   | 正受庵の鐘楼                 | 飯山市大字飯山1871       | H10.5.18  |               |
| 33 | 37 | 有形文化財   | 至道無難筆「平常道」             | 飯山市大字飯山1871       | H10.5.18  | 正受庵           |
| 34 | 38 | 有形文化財   | 白隠筆「初夢画讃」              | 飯山市大字飯山1871       | H10.5.18  | 正受庵           |
| 35 | 39 | 有形文化財   | 正受庵十一画観音像              | 飯山市大字飯山1871       | H10.5.18  | 正受庵           |
| 36 | 40 | 天然記念物   | 大川のイチヨウ                | 飯山市大字旭1670-口      | H10.5.18  |               |
| 37 | 41 | 天然記念物   | 正行寺のイチヨウ               | 飯山市大字旭5071        | H10.5.18  |               |
| 38 | 42 | 有形民俗文化財 | 五束の伊勢社                 | 飯山市大字豊田3681-1     | H10.5.18  |               |
| 39 | 43 | 天然記念物   | 小菅のヤマグワ                | 飯山市大字瑞穂小菅7092     | H10.5.18  | 浅葉ノ庵          |
| 40 | 44 | 天然記念物   | 西大滝のエノキ                | 飯山市大字照岡3119       | H12.3.27  |               |
|    | 45 | 有形文化財   | 菩提院の絹本着色両界曼荼羅図         | 飯山市大字瑞穂小菅7082     | H12.3.27  | H14 県宝指定に伴い解除 |
| 41 | 46 | 有形文化財   | 菩提院の紙本着色十六善神画像         | 飯山市大字瑞穂小菅7082     | H12.3.27  |               |
| 42 | 47 | 有形文化財   | 菩提院の紙本着色涅槃・極楽・地獄絵図     | 飯山市大字瑞穂小菅7082     | H12.3.27  |               |
| 43 | 48 | 天然記念物   | 秋津小学校のイロハモミジ           | 飯山市大字静間2608       | H12.3.27  |               |
| 44 | 49 | 天然記念物   | 三桜神社のブナ                | 飯山市大字寿195         | H12.3.27  |               |
| 45 | 50 | 無形民俗文化財 | 五束の御柱行事                | 飯山市大字豊田3681-1     | H13.11.29 |               |
| 46 | 51 | 有形文化財   | 小菅の阿弥陀三尊像              | 飯山市大字瑞穂7130-16    | H13.11.29 |               |
| 47 | 52 | 有形文化財   | 五束の狛犬                  | 飯山市大字豊田3681-1     | H13.11.29 |               |

|    |    |         |               |               |           |          |
|----|----|---------|---------------|---------------|-----------|----------|
| 48 | 53 | 史跡      | 小菅大聖院跡及び奥社参道  | 飯山市大字瑞穂小菅     | H15.1.15  |          |
| 49 | 54 | 無形民俗文化財 | 桑名川の大祭        | 飯山市大字照岡桑名川区   | H15.1.15  | 名立神社     |
| 50 | 55 | 天然記念物   | 犬飼神社のカツラ      | 飯山市大字瑞穂2559   | H15.5.30  |          |
| 51 | 56 | 天然記念物   | 瀬木のイチイ        | 飯山市大字豊田6751   | H15.5.30  |          |
| 52 | 57 | 有形文化財   | 西方寺の雲室書簡      | 飯山市大字照里396    | H16.5.26  |          |
| 53 | 58 | 無形民俗文化財 | 烏踊り           | 市内全域          | H16.5.26  |          |
| 54 | 59 | 有形文化財   | 真宗寺方便法身尊形     | 飯山市南町22-17    | H19.6.6   |          |
| 55 | 60 | 有形文化財   | 坂原家方便法身尊形     | 飯山市大字山岸223    | H19.6.6   |          |
| 56 | 61 | 有形文化財   | 五束宝篋印塔        | 飯山市大字豊田五束     | H19.6.6   |          |
| 57 | 62 | 有形文化財   | 大倉崎館跡出土瓦質風炉   | 飯山市大字飯山1434-1 | H19.11.20 | 飯山市ふるさと館 |
| 58 | 63 | 有形文化財   | 常盤神社の木造狛犬     | 飯山市大字常盤       | H20.11.25 |          |
| 59 | 64 | 有形文化財   | 恵端蔵書「夾山鈔」     | 飯山市大字飯山1871   | H20.11.25 | 正受庵      |
| 60 | 65 | 有形文化財   | 大輪院の木造天部立像    | 飯山市大字飯山2144   | H20.11.25 |          |
| 61 | 66 | 有形文化財   | 光明寺の銅造阿弥陀如来立像 | 飯山市大字照里1823   | H21.4.4   |          |
| 62 | 67 | 天然記念物   | 顔戸のエドヒガン      | 飯山市大字寿1506-2  | H25.12.20 |          |
| 63 | 68 | 有形文化財   | 三井家和算資料       | 飯山市大字静間1126   | H25.12.20 |          |
| 64 | 69 | 有形文化財   | 滝澤家和算資料       | 飯山市大字常盤4301   | H25.12.20 |          |
| 65 | 70 | 有形文化財   | 仁王門           | 飯山市大字瑞穂6076-1 | H26.9.2   |          |
| 66 | 71 | 有形文化財   | 講堂            | 飯山市大字瑞穂7132-2 | H26.9.2   |          |
| 67 | 72 | 有形文化財   | 護摩堂           | 飯山市大字瑞穂7053-1 | H26.9.2   |          |

## 市選択文化財 選択4

| 通し<br>No. | 指定<br>No. | 種別        | 名称     | 所在地 | 指定年月日     | 備考 |
|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----------|----|
| 1         | 1         | 選択無形民俗文化財 | 富倉の笹ずし |     | H19.11.20 |    |
| 2         | 2         | 選択無形民俗文化財 | いもなます  |     | H19.11.20 |    |
| 3         | 3         | 選択無形民俗文化財 | えご     |     | H19.11.20 |    |
| 4         | 4         | 選択無形民俗文化財 | 富倉そば   |     | H19.11.20 |    |



飯山ふるさと検定 公式ガイドブック

発行日 平成 27 年 9 月 11 日

編集・発行 飯山市教育委員会 文化振興部 市民学習支援課文化財係  
389-2253 飯山市大字飯山 1436-1 飯山市公民館内  
電話 0269-62-3342 FAX 0260-62-5940